

部局名	安全環境部			所属名	清掃センター			所属長名	矢口 健二			電 話	483-4521		
-----	-------	--	--	-----	--------	--	--	------	-------	--	--	-----	----------	--	--

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	4020		事務事業名称	最終処分場恒久対策事業							短縮コード	経常		臨時	4020	
予算区分	会計	01	一般会計		款	04	衛生費		項	02	清掃費		目	02	塵芥処理費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																
最終処分場の延命化を図るとともに、安全かつ適正の処理が可能な施設をつくる。																
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系		5本の柱（章）		03	安全・環境共生都市をめざして							
平成20年度完了を目標としており、完了後は埋立可能となる。						大項目（節）		03	環境・衛生							
						中 項 目		02	ごみ処理							
						小項目（施策）		02	環境に配慮した適正なごみ処理の推進							
						細 項 目		02	焼却施設等の整備							
実施計画の計画事業		3305	最終処分場改修事業（恒久対策）													
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成17年4月 ～ 平成20年3月			計画事業費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	最終処分場恒久対策工事										
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： ・最終処分場恒久対策工事 ・最終処分場恒久対策工事施行管理業務委託 ・ごみ処理業務委託										
	※平成19年度に計画していること： 最終処分場恒久対策工事、最終処分場恒久対策施行管理委託、ごみ処理委託										
意図 （何を狙っているのか）	最終処分場の延命化を図るとともに、安全かつ適正の処理が可能な施設をつくる。										
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	20年以上の埋立が可能となる。										
区 分				単位	17年度		18年度		19年度		
					実績		計画		実績		計画
対象指標	指標1	恒久対策工事		件			1		1		1
	指標2										
	指標3										
活動指標	指標1	工事の進捗状況		%			19		5		53
	指標2										
	指標3										
成果指標	指標1	工事の完成度		%			100		100		100
	指標2										
	指標3										
上位成果指標	指標1	市民一人一日当たりのごみの排出量		g					934		
	指標2	リサイクル率		%					23.8		
	指標3	一般廃棄物処理量（年）		t					63,652		

コード	4020	事務事業名称	最終処分場恒久対策事業				所属名	清掃センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			平成１８年度から平成２０年度まで継続事業として現在事業中である。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			平成１８年度から平成２０年度まで継続事業として現在事業中である。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
早急の対応を求められている。	

所属長コメント	平成１８年度から平成２０年度まで継続して事業を行い、完了後は、２６年間に渡り使用が可能な最終処分場となる。事業完了後は維持管理の中で管理していく。	
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
	☐ 廃止	
	☐ 休止	
	☒ 現状のまま継続	